

2022年度

韓国留学報告書

実習先：慶熙（キョンヒ）大学

実習期間：9月26日～2月27日

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21019105

氏名：藤田 千夏

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学中スケジュール	3、4
4-2. 時間割および授業内容	4、5
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省・課題や後輩へのアドバイス	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：慶熙（キョンヒ）大学 ソウルキャンパス

実習期間：令和4年9月26日(月)～令和5年2月26日(日)

※帰国は2月27日(月)

2. 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学は、1949年に設立された韓国の私立総合大学。現在3つのキャンパスと21の単科大学、7学部、81学科と6つの専門大学院、9つの特殊大学院を設置し世界78か国、500校以上の大学と交流提携している。

(2) 大学で行われている教育について

慶熙大学の国際教育院は1993年に韓国語教育プログラムを開始し、1996年には『大韓民国政府招請外国人奨学生プログラム』の韓国語研修機関に選定された。国際教育院には、年間80か国から2500人以上の留学生が来ている。語学堂は、初級ⅠⅡ、中級ⅠⅡ、高級ⅠⅡとレベルが分かれており、自分の実力に合わせて受講できる。

また慶熙大学では、韓国人学生が留学生の韓国語学習や韓国生活を支援してくれる「トウミ制度」があり、基本韓国人学生が留学生1人に対し1名付きサポートしてくれる。

3. 留学目的

今回の留学目的は、韓国語会話力を高めることである。今までの勉強方法は、文法や読解力をつけるためにテキストに沿って学習していることが多く、韓国語を使って実際に会話できる機会がほとんどなかった。そこで今回の留学では積極的に会話をし、話すことを中心に韓国語力の向上を目的とした。また実際に韓国での生活を通し、日本では体験できないことを経験し、新しい知識を身に付けたいと考えた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

4-1. 留学中スケジュール

月	日	内容
9	26	到着、入寮
	28	授業開始、学園際
	29	学園祭

10	5	ハングル大会
	6	韓国語マラギ大会視聴
12	5~6	期末試験
	8	秋学期修了式
	9~14	休み(11~13 済州島旅行)
1	22	旧正月
	29	TOPIK 試験
2	21~22	期末試験
	24	冬学期修了式
	27	帰国

4-2. 時間割および授業内容

週に2回午後に授業がある。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:10~10:00	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語
2 限	10:10~11:00	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語
3 限	11:10~12:00	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語
4 限	12:10~13:00	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語
	昼休憩					
午後 授業			13:10~16:00 セミナー授業		15:20~17:10 文化授業(オンライン)	

<授業内容>

・文法

テキストをもとに、1学期に約30~50程の文法を学び、留学期間全体では、100近くの文法を学ぶことができるため韓国語会話の質を大きく上げることができる。

・聞き取り

テキストの会話文を聞き、韓国語に耳を慣れさせた。内容としては、友達同士の会話・インタビュー・ニュース・討論などがあり、なかには5分ほどの長文もあり様々な場面において韓国語の聞き取り能力を向上させることができる。

・会話

テキストに沿って、お題に合う会話文をペアで作ったり、個人発表をすることもあった。

・読解

テキストの長文を解きながら、予習復習を繰り返し、新しい単語や文法を習得した。

・書き

読解授業で読んだ長文と似たお題が出されるので、その文を参考にしながら各自で、300~400字程度の作文を書いた。レベルが上がるごとに、文字数だけではなく決められた時間内に書き終える力を求められた。そして留学期間中で40ほどの作文を書いたので、「書き」の能力は大きく向上したと感じられる。

・セミナー授業

新潟国際情報大学の学生のための授業で、週に1度午後に授業を受ける。主に、2人1組になって提示されたお題について調べPPTを作成し、発表するという授業スタイルであった。お題は、韓国国内の観光地に実際に訪問し、その場所について詳しく調べたり、韓国文化に関して気になることで自由にお題を決め、調べて発表することもあった。その際は、実際に韓国人にアンケート調査を行い、データを集めた。どのチームの調査結果も非常に面白い結果が出て、勉強になった。

・文化授業（オンライン）

文化授業は（発音練習・韓国ドラマ・kpop・旅行・日常表現・討論）の中からひとつ選択することができ、自分のレベルに合わせてそれぞれ受講することができる。例えば、韓国ドラマだと、ドラマに出てくる単語を勉強したり、1人1回ずつ紹介したい韓国ドラマについてPPTを準備し、発表もおこなった。韓国ドラマに出てくる単語は、日常的な表現やスラング、初めて知る単語も多く非常に興味深かった。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学の目的は、韓国語会話力を高めることであった。授業中はもちろんのこと、日本人同士ご飯を食べに行く際には、同じ語学堂に通う外国人の友達も誘って共通語を韓国語にしたり、韓国人の友達も積極的に作って、韓国語を話す機会をたくさん設けた。そこでは、会話の内容だけではなく、とにかく韓国語を話すことを重要視し、思ったことをすぐ口にしを試みたり、自分から話す努力をした。そうしたことで、韓国語を話すということにも少しずつ慣れ、会話も楽しめるようになった。

6. 反省・課題や後輩へのアドバイス

韓国に来て最初の頃は、人数が多い普通の韓国語授業では、どうしても積極的に自ら発言することができず、間違いを恐れずにもっと発言していれば良かったと感じている。また今後の課題としては、ひとつでも多くの単語を身に付け、より会話の質を上げられるようにしたいと考える。

留学準備をする際、生活用品はすべて現地でそろえようと考えていたが、初日はマートの位置が分からなかったり、すぐにすべての生活用品をそろえることは難しいと感じた。個人的には、シャンプー、ボディソープなどを買うことができなかったため、念のため使い切りタイプのシャンプーなど持って行ったのでそれは良かった。また、初日すぐに荷解きをしたくても寮の部屋の棚や床など汚れが気になる部分もあるので、多少タオルやウエットティッシュなどの掃除用品があればより便利だったと思う。

また留学は、自分の行動次第で短期間でも自分の韓国語力を伸ばすことができる。そしてせっかく日本とは違う環境で勉強できるため、今後留学を考えている皆さんは、とにかく外に出て、色んな人と出会って、積極的に韓国語を使い、多くの経験ができたらと思う。

7. 謝辞

今回留学するにあたって、最初の留学準備から引率、留学中の対応から帰国する最後まで支えてくださった新潟国際情報大学の先生方。学務課の方々。留学先の慶熙大学の先生方。支援してくださった両親。また本学から頂いた奨学金。皆様のおかげで、留学することができました。心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で2年延期になった派遣留学で、当時はまだ留学できるのか不安な状況であったにもかかわらず、皆様のサポートを受け4年生で無事に留学することができ大変嬉しく思います。貴重な経験、一生の思い出をありがとうございます。そして今後も韓国語の勉強を継続し、さらに成長できるよう精進してまいります。

付録：留学日誌

「トウミ制度」で親しくなった韓国人学生とトウミ期間が終わっても何度か一緒にご飯を食べに行ったりしながら関係を続けることができた。

また留学中は、休日になるとソウルだけではなく韓国のさまざまな地域を訪れて、その土地の料理や、文化を学んだ。秋学期と冬学期の間に1週間ほどの休暇があったので、済州島へ。他にも、釜山や清州、全州、仁川、京畿道へ行ってみた。

韓国の文化について

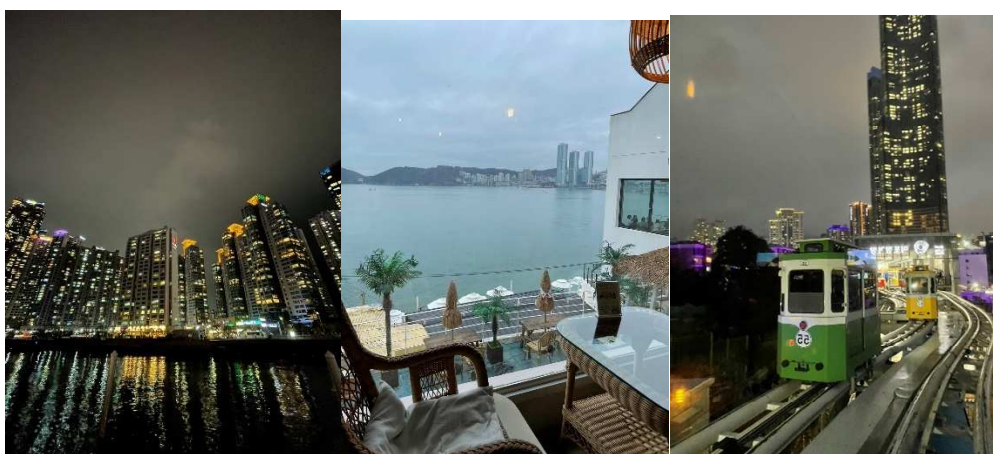
- ・カフェで勉強している人が多い。
- ・大学の学習室は24時間開いている。
- ・大学では、ラフな服装をしている人が多い。
- ・キャッシュレス大国で、現金が使えないお店もある。
- ・韓国はクリスマス期間が長く、2、3月ごろまでクリスマスの飾りつけをしているカフェやお店も多い。



トウミ制度で出会ったドンジュさん



济州島



釜山



景福宮で着た韓服